

平成 27 年度地方教育行政功労者表彰 被表彰者一覧

氏 名	主 な 役 職	功 績 内 容
<p>なかじま かずのり 中 島 和 則</p>	<p>越前市教育委員会教育委員 越前市教育委員会教育長 (H17. 11. 29～H21. 11. 28) (H21. 12. 15～現在)</p>	<p>市町合併直後の平成 17 年 1 月に越前市教育長に就任し、合併後のスムーズな教育環境整備に腐心した。平成 19 年の越前市総合計画では、まちづくりの 5 つの柱のひとつである「元気な人づくり」に関する基本構想や基本計画を策定し、さらに、越前市教育方針や越前市教育振興ビジョンを策定するなど、越前市の教育行政の方向性を定め、その基礎を固めるうえで卓越した指導力を発揮した。</p> <p>平成 19 年 1 月に策定した「学校施設耐震化推進計画」に基づき耐震化事業を着実に推進し、児童生徒が安全・安心に学べる教育環境の整備に精力的に取り組んでいる。また、教育施設・学校における ICT 環境の整備・充実にもいち早く着目し、越前市における教育の情報化を実現した。</p> <p>市の「コウノトリが舞う里づくり基本構想」と協調し、自然環境と生活文化の伝承や、ふるさとを愛し、いのちを大切にする学びと体験活動など、いのちをはぐくむ教育を推進している。また、子どもたちが希望や目標をもって生きていく力の育成を図ることに着眼し、「こころのプロジェクト・夢の教室」や「ロボットコンテスト」などの「夢ある子ども育成事業」を積極的に展開している。さらに、越前市子ども読書活動推進計画の策定や、かこさとしふるさと絵本館「砾（らく）」の開館など、子どもたちが本に出会い、進んで読書する環境づくりを積極的に推進している。</p> <p>越前市(越前国)・小松市(加賀国)・高岡市(越中国)・七尾市(能登国)・上越市(越後国)の国府所在 5 市が、国府をテーマとした広域での魅力発信、歴史・文化を通じた相互交流を目的とした「こしのくに国府サミット」の第 1 回開催に向けて奔走し、平成 25 年 10 月の越前市開催を実現した。</p>

氏 名	主 な 役 職	功 績 内 容
かわもと としお 川 元 利 夫	旧三国町教育委員会教育委員 (H17. 10. 1～H18. 3. 19) 坂井市教育委員会教育委員 (H18. 3. 20～現在) 坂井市教育委員会教育長 (H18. 5. 11～現在)	<p>平成18年5月に坂井市教育長に就任し、初代教育長として精力的に市民との交流を図り、市民の融和と坂井市の一体感の醸成に取り組んでいる。学校教育、社会教育、文化振興など、あらゆる教育分野において、豊富な経験と見識により大所高所からの適切な判断を示し、教育行政の推進に貢献している。</p> <p>教職員の指導力向上のための研究会や研修会を実施している他、全国学力調査や福井県学力調査を全小中学校において実施するとともに、坂井市学力調査を実施している。さらに学力調査の結果を教科ごとの教職員が分析することにより、学力向上に繋がっている。また、市費により学級運営支援員や生活支援員を配置し、児童ひとりひとりへのきめ細かな指導や気がかりな子への支援に取り組んでいる。</p> <p>小中学校の計画的な耐震補強工事や大規模改修工事を実施するとともに、快適な学習環境を提供するため、全ての小中学校普通教室にエアコンを設置した。また、児童生徒へ安全な給食を届けるため、老朽化した学校給食センターの移転改築を行った。</p> <p>平成30年の福井しあわせ元気国体に向け、サッカー競技会場となる丸岡スポーツランドサッカー場の天然芝コート改修、人工芝コートの整備、クラブハウスの整備を始め、社会体育施設の耐震補強工事の推進にも尽力している。</p> <p>「子どもは地域の宝」であることを念頭に、「わんぱく少年団」「合宿通学事業」を通じ、自然の中での体験や地域の方とのふれあいを体験することで、ふるさとへの愛着心を育てる活動に取り組んでいる。また、合併前から旧町で実施していた姉妹都市交流や国際交流の充実を行い、次代を担う青少年の異文化体験、国際理解教育を推進している。</p> <p>また、国指定重要文化財である丸岡城天守の防災設備の整備改修や、市内文化財の保護・活用のため、専門職員による調査・研究を進めて基礎的情報の蓄積を図っている。</p>

氏 名	主 な 役 職	功 績 内 容
てらい やすたか 寺 井 靖 高	あわら市教育委員会教育委員 あわら市教育委員会教育長 (H19. 5. 22～H27. 5. 21)	<p>平成19年5月にあわら市教育長に就任し、平成27年5月の2期目の任期満了をもって退職するまでの8年間に亘り、あわら市の教育行政の発展に精魂を傾注してきた。</p> <p>人格高潔で教育公務員として常に全体の奉仕者たる事を忘れず、自ら教師としての経験で培った高い教育観と実践力をもとに卓越した指導力を発揮し、学校教育はもとより、社会教育、文化・スポーツの振興に対し、行政運営において功績を遺した。</p> <p>任期中は、県内の他市町に先がけて小中学校の耐震化工事に着手し、耐震化率100%をいち早く達成するとともに、併せて学校施設の大規模改修工事を行い、教育環境の向上にも積極的に取り組んだ。また、市町村合併時からの課題であった、自校方式とセンター方式に分かれていた老朽化の著しい学校給食施設を統一し、学校衛生基準に適合した食物アレルギーにも対応できる最新式の学校給食センターを建設し、安全・安心な給食の提供できる施設を整えた。</p> <p>一方、学力の向上にも積極的に取り組み、2学期制の導入により、教師の負担軽減と授業時間の確保を実現した。さらには「あわら市小規模小学校適正規模・適正配置基本指針」を作成し、小学校の適正配置に道筋をつけるとともに、「あわら市教育振興基本計画」の策定に取り組み、その目標の実現に向けた施策を推進するなど、あわら市の教育振興に大きく貢献した。</p>